

FM/AM コンパクトディスク プレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



CDX-2200

**警告**

安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この取扱説明書と別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- ・ 運転者は走行中に操作をしない。
- ・ 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



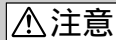
- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡やけがなど人身事故の原因となります。

**注意**

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

目次

△警告・△注意	4
---------------	---

▶ 準備

まず、本機をリセットする	6
時計を合わせる	7
放送局を自動で登録する	8

▶ ここだけ読んで使えます

CDを聞く	9
ラジオを聞く	12

▶ ラジオ

特定の放送局を登録する	14
-------------------	----

▶ その他の操作

音質や音のバランスを調節する	15
重低音を強調する	16

付録

使用上のご注意	17
各部のなまえ	18
故障かな?	19
保証書とアフターサービス	21
主な仕様	22
索引	23



火災



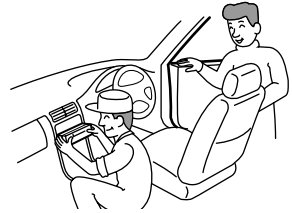
感電

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の実装には専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止

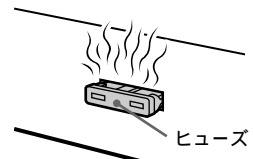


規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



禁止



分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となることがあります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

カセットテープやディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



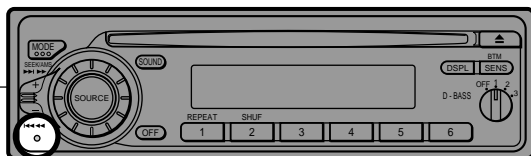
禁止



はじめに

本機では、CDとラジオを聞くことができます。また、別売りのパワーアンプをつないでさらに高音質を楽しむことができます。

まず、本機をリセットする

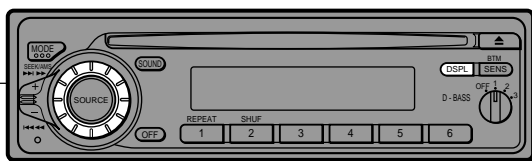


初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したときは、リセットボタンをボールペンの先などで押す。

ご注意

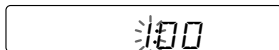
リセットボタンを押すと、時刻の他、登録した内容で消えるものがありますので、登録し直してください。

時計を合わせる

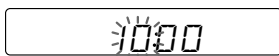


1 車のキーをONにする。

DSPL **2** DSPLボタンを時計表示が点滅するまで押す。



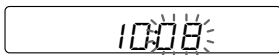
① ダイヤルで「時」を合わせる。
(時計は12時間表示)



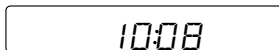
② 「時」を合わせたら、SOUNDボタンを押す。



③ ダイヤルで「分」を合わせる。



3 DSPLボタンを押す。



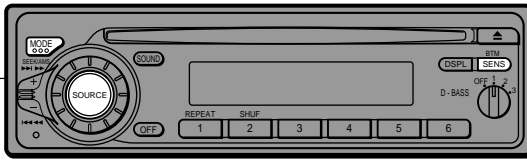
時計がスタートします。

ご注意

パワーセレクト機能をOFFにしている場合は、本機の電源を入れてから時計を合わせてください。電源を入れるには、FM/AMボタンを押してラジオをつけます。

くわしくは「取り付けと接続」をご覧ください。

放送局を自動で登録する



受信できる局を数字の1～6ボタンに自動的に登録します。FMまたはAMのバンドでそれぞれ6局ずつ登録できます。テレビ放送(1～3チャンネル)は、FM90.0MHzの次にあります。



1 SOURCEボタンを押してラジオに切り換える。



2 MODEボタンを押して登録したい放送局のバンド(FMまたはAM)に切り換える。



3 BTMボタンを2秒以上押す。

選んだバンドの放送局が周波数の順に数字ボタンに登録されます。

ご注意

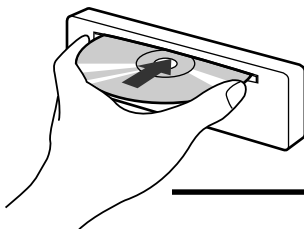
- 放送局の数が少ない場合は、登録されないことがあります。
- すでに登録されているボタンにも、新たに登録されます。

CDを聞く

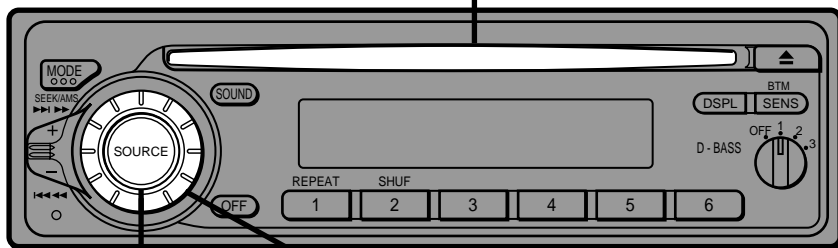
準備

ここだけ読んで使えます

CDを入れると再生が始まります



レーベル面を上にして
入れます。



音量を調節する

CDが入っているときに押
して「CD」を選ぶと再生が
始まる（SOURCE^{ソース}ボタン）



8cmCDについて

本機では8cmCDをアダプターを使わずに再生
できます。

8cmCDにシングルアダプターを付けてディス
クを再生すると、誤動作の原因となりますので
使用しないでください。

次のページへつづく

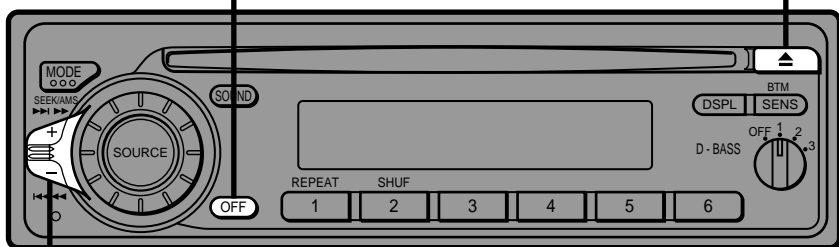
CDを聞く(つづき)

止める / 電源を切る

オフ
(OFFボタン)

CDを取り出す*

イジェクト
(▲ボタン)

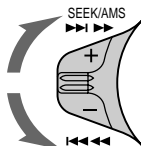


聞きたいところを探す

シーク/エーエムエス/マニュアル
(SEEK/AMS/MANUつまみ)

先に進める

前に戻す



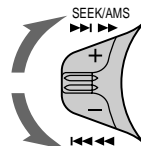
上下に押しつづけ、聞きたい
ところで離します。

曲の頭出しをする

シーク/エーエムエス/マニュアル
(SEEK/AMS/MANUつまみ)

次の曲へ

前の曲へ



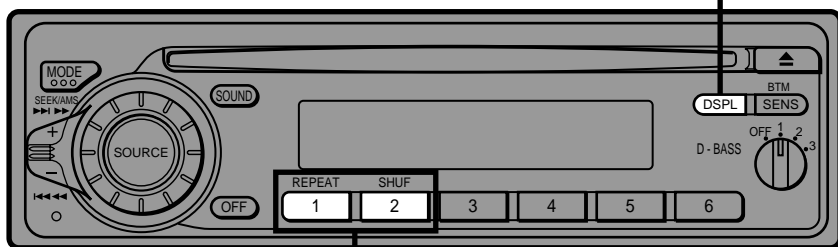
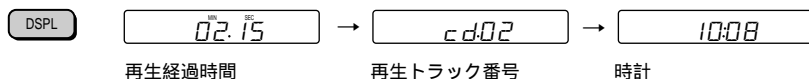
とばしたい曲の数だけ上下に押
します。

*セルフストア機能

▲を押した後、挿入口にCDが15秒以上差し込んだままになっていると、ディスク保護のため自動的にディスクを引き込み停止状態になります。

表示の見かた ディスプレイ (DSPLボタン)

DSPLボタンを押して表示を切り換えます。



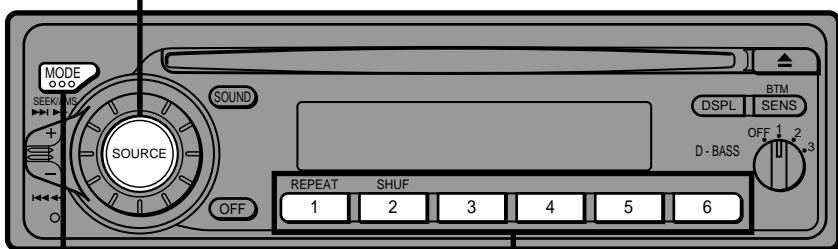
いろいろな聞きかた

REPEAT リピート
1 今の曲を繰り返し再生する (REPEATボタン)
もう1度押すと、ふつうの再生に戻ります。

SHUF シャッフル
2 再生中のディスクのすべての曲を順不同に再生する (SHUFボタン)
もう1度押すとそこからふつうの再生に戻ります。

ラジオを聞く

1 ラジオに切り換える



2 聞きたいバンドに切り換える



押して「FM」または「AM」を選びます。

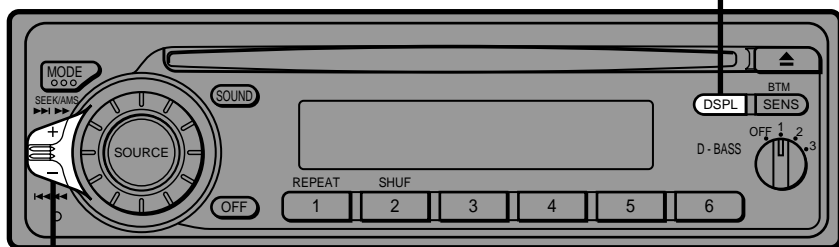
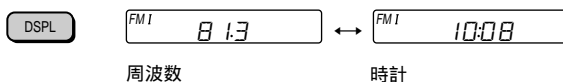
3 聞きたい放送局のボタンを押す (放送局をプリセットしてあるとき)



プリセット(登録)のしかたについては、8ページ参照。

表示の見かた (ディスプレイ ディスプレイ DSPLボタン)

DSPLボタンを押して表示を切り換えます。



旅先などで、プリセットした局が受からないとき (自動選局を使う)

SEEK/AMS/MANUつまみを短くまわして離します。自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい局が受かるまで、ボタンを上下に押します。

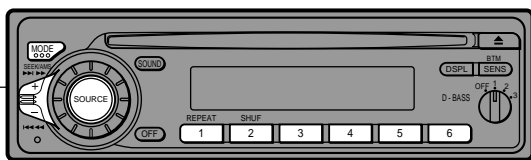


- 聞きたい局がわかっているときは、その局の周波数になるまでSEEK/AMS/MANUつまみを上下に押しつづけます。
- 自動選局がたびたび止まってしまうときは、SENSボタンを押して「LOCAL」に切り換えます。比較的電波の強い局だけを受信します。

ステレオ放送が聞きにくいとき

ステレオ放送を受信すると「STEREO」と表示されます。放送が聞きにくいときは、SENSボタンを押して「MONO」を表示します。音をモノラルにすると聞きやすくなります。

特定の放送局を登録する



放送局を自動で登録(8ページ)したあと、空いている数字ボタンに他の放送局を追加登録できます。すでに登録してある数字ボタンも、他の放送局に登録し直すことができます。道路交通情報(AM1,620kHzまたはAM1,629kHz)を登録しておく便利です。



1 SOURCEボタンを押してラジオに切り換える。



2 MODEボタンを押して登録したい放送局のバンド(FMⅠ、FMⅡまたはAM)に切り換える。



3 SEEK/AMS/MANUつまみをまわして登録する放送局を受信する。

FM 1
81.3



4 登録したい数字ボタンを番号が表示されるまで押す。

押した数字ボタンの番号が表示され、このボタンに選んだ放送局が登録されます。

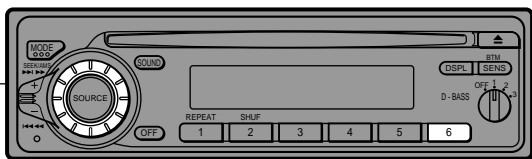
FM 1
81.3 3

ご注意

FM12局、AM6局まで登録できます。

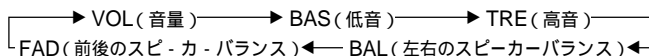
すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の局は消えてしまいます。

音質や音のバランスを調節する



BAS (低音) TRE (高音) はソースごとに調節できます。

- SOUND** 1 SOUNDボタンを押して調節したい項目に切り換える。



- 2 ダイヤルを回して調節する。

3秒以内にダイヤルを回してください。3秒を過ぎると音量調節 (VOL) に戻ります。



BAS	TRE	BAL	FAD
弱まる	弱まる	左へ移動	後ろ方向へ移動
強まる	強まる	右へ移動	前方向へ移動

ボタンを押したときの「ピッ」音を入・切する

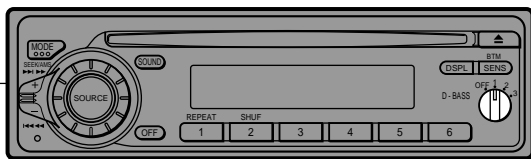
- SOUND** SOUNDボタンを押しながら数字ボタン6を押す。

6 押すたびに切り換わります。

ご注意

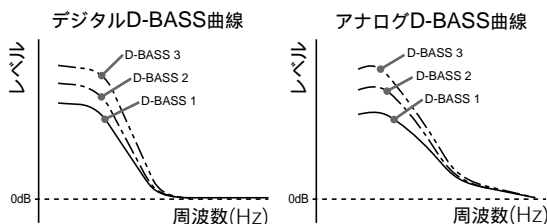
内蔵アンプを使用しないで別売りのアンプを接続した場合、「ピッ」という音はでません。

重低音を強調する

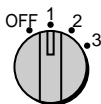


D-BASS機能(ダイナミックベース)は低音域をシャープに増幅するため、従来の低音強調機能よりも同じ音量でクリアな力強い低音を楽しめます。さらにデジタルD-BASS*では、独自のICを採用し、アナログD-BASSを超えた迫力ある重低音で再生します。

* デジタルD-BASSはCD再生時に働きます。また、ラジオ受信時は、アナログD-BASSで再生します。



D-BASSつまみで低音を調節する



1 ~ 3 に合わせます。数字が大きいほど低音が強調されます。

ディスプレイでの表示

「DIGITAL D-BASS」 → CD再生時

「D-BASS」 → ラジオ受信時

通常に戻すときは、D-BASSつまみを「OFF」に合わせてください。

ご注意

音量によっては低音が歪むことがあります。このときはD-BASSつまみや音量を聞きやすいように調整してください。

使用上のご注意

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。

本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

液晶表示について

温度が極端に高いまたは低いところでは、表示が見づらくなることがありますが、故障はありません。周囲の温度が常温に戻ると、表示ももとに戻ります。

結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、CDプレーヤー内部の光学系のレンズに露(水滴)が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、CDプレーヤーが動作しないことがあります。

周囲の状況にもよりますが、CDを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスにお申し付けください。

コンパクトディスクについて

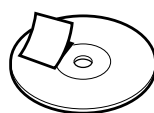
- CDの汚れやゴミ、キズ、そりなどが、音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。



記録面に触れない
ように持つ。



禁止



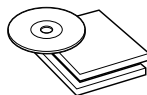
ディスクに紙などを
貼らない。
キズを付けない。

特に、レンタルCDなどで使用されていたものをお買いになった場合、ラベルなどが貼られていたときは、はがしたあとの接着剤まできれいにふき取ってください。残っていると故障の原因となることがあります。

- 直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。



禁止

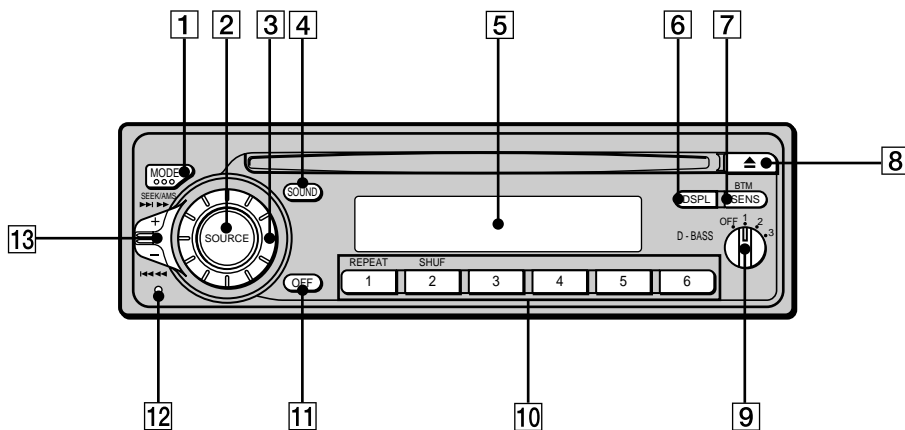


- 再生する前に、再生面についてホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向へふき取ってください。
- ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。静電気防止剤なども、逆にCDを傷めることがありますので、使用しないでください。
- 本機では円形ディスクのみお使いになれます。円形以外の特殊な形状(星形やハート型など)のディスクを使用すると、故障の原因となることがあります。



各部のなまえ

内のページにくわしい説明があります。



モード
1 MODE (FM/AMバンド切り換え) ボタン **8 12 14**

ソース
2 SOURCE (チューナー/CD切り換え) ボタン **8 9 12 14**

ボリューム/バス/トレブル
3 VOL/BAS/TRE (音量調節) ダイアル **7 9 15**

サウンド
4 SOUND (音質調整) ボタン **7 15**

5 表示窓

ディスプレイ
6 DSPL (表示切り換え/時計合わせ) ボタン **7 11 13**

センシティビティ/ピーティーエム
7 SENS/BTM (感度切り換え/ベストチューニングメモリ) ボタン **8**

イジェクト
8 ▲ (CD取り出し) ボタン **10**

ダイナミックベース
9 D-BASS (重低音調節) つまみ **16**

10 数字ボタン1～6

ラジオ **12 13**

CD **11**

オフ
11 OFF (電源切り) ボタン **10**

12 リセットボタン **6**

シーク/エーエムエス/マニュアルサーチ
13 SEEK/AMS/MANU (頭出し/ラジオ選局/マニュアルサーチ) つまみ **10 13 14**

故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

	症状	原因・処置
共通	音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> 音量を上げてください。 スピーカー接続時：フェーダーの設定が正しくない。 2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。
	電源OFF時に時計表示にならない。	パワーセレクト機能がOFFになっている。 パワーセレクト機能をONにしてからリセットボタンを押してください。(アクセサリポジションのある車のみ)
	メモリーの内容が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none"> リセットボタンを押した。 動作電源コードまたはバッテリーをはずした。 電源コードが正しく接続されていない。
	ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> 「ピッ」という音が出ない設定になっている(15ページ)。 内蔵アンプを使用しないで別売りのアンプを接続した場合「ピッ」という音は出ません。
CD	CDが入らない。 CDをいれてもすぐに出てくる。	<ul style="list-style-type: none"> すでに別のCDが入っている。 CDを誤った向きに入れようとしている。 レーベル面を上にして入れてください。
	音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	<ul style="list-style-type: none"> CDが汚れている。ディスクをクリーニングしてください。 ディスクが傷ついている。 本機の取り付け角度が60°を越えている。
	▲ボタンを押してもCDが出てこない。	▲ボタンを2秒以上押す。
ラジオ	受信できない、 雑音しか出ない。	<ul style="list-style-type: none"> カーアンテナとの接続を確認してください。 オートアンテナが上がっていない。パワーアンテナコントロールリードをANT/REM(青)コードに接続してください。 周波数を確認してください。
	SEEKつまみを上下に押しても聞きたい局で止まらない。	<ul style="list-style-type: none"> 「LOCAL」と表示されている場合は電波の強い周波数しか受信しません。表示を消してください(13ページ)。 電波が弱くて自動選局できない。SEEK/AMSつまみを上下に押しつづけて周波数を合わせてください。

故障かな?(つづき)

エラー表示について

CDプレーヤーが誤動作すると、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
E-04	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
E-99	何らかの原因でCDが動作しない。	本機のリセットボタンか▲ボタンを押す。

保証書とアフターサービス

保証書（別に添付）

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな？」の項目に従って、故障がどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口（別紙）にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

主な仕様

CDプレーヤー部

SN比	90dB
周波数特性	5 ~ 20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

チューナー部

FM

受信周波数	76 ~ 90MHz (テレビ1 ~ 3ch)
中間周波数	10.7MHz
実用感度	10dBf
周波数特性	30 ~ 15,000Hz
SN比 50dB感度 (IHF)	18dBf
実効選択度	75dB (400kHz)
SN比	62dB (ステレオ) 65dB (モノラル)

ひずみ率 (1kHz)	1.0% (ステレオ) 0.5% (モノラル)
ステレオセパレーション	35dB以上 (1kHz)
キャプチャレシオ	2dB

AM

受信周波数	522 ~ 1,629kHz
中間周波数	10.71MHz/450kHz
実用感度	30 μ V

アンプ部

適合インピーダンス	4 ~ 8
最大出力	40W \times 4 (4 負荷1kHz)

電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
トーンコントロール	低音 : 10dB (100Hz) 高音 : 10dB (10kHz)
出力端子	フロント/リア音声出力端子 アンプコントロール アンテナコントロール ATTコントロール、ナビゲーションATTコントロール
本体寸法	約178 \times 50 \times 185mm (幅 / 高さ / 奥行き)
取付寸法	約178 \times 50 \times 162mm (幅 / 高さ / 奥行き)
質量	約1.2kg
付属品	取り付け/接続部品 (一式) 取扱説明書 (一式) ソニーご相談窓口のご案内 (1) 保証書 (1)
別売品	RCAピンコード RC-63 (1m) RC-64 (2m) RC-65 (5m) CDクリーニングキット CDM-3K

本機の仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

あ行

エラー表示 20

音量 9、15

か行

高音 15

交通情報 14

さ行

シャッフル 11

ステレオ放送 13

スピーカーバランス 15

た、な行

低音 15

電源 10

登録

自動登録 8

ラジオ局 14

時計 7

は行

バランス 15

ヒューズ 17

表示窓

CD 11

ラジオ 13

フェーダー 15

ボタンの音 15

ま、や行

モノラルモード 13

ら、わ行

ラジオ 12

自動選局 13

登録 8、14

リセット 6

リピート 11

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111